

# 京都丹波高原国定公園をはじめとする自然公園の整備及びジオパークとの連携支援について

【担当省庁】 環境省

京都丹波高原国定公園は、平成 28 年に国定公園に指定されて以降、その利用を促進するため、自然公園等事業費メニューの「自然環境整備交付金」等を活用して環境整備の推進に努めてきたところであるが、指定以来 7 年が経過する中においても、その環境整備はまだ緒に就いたばかりである。

30by30 目標（2030 年までに陸域・海域の 30%以上の保全を目指す国際目標）の達成に向けては、保護地域（国立公園等）や OECM の拡張が求められているが、まずは既存の保護地域の管理の質向上に向けた整備推進を図るため、京都丹波高原国定公園をはじめとした府内国立・国定公園等に対する当該交付金による支援を拡充いただきたい。

また、ユネスコ世界ジオパークである「山陰海岸ジオパーク」における山陰海岸国立公園及び丹後天橋立大江山国定公園と連携した取組が強化されるよう、地質資源を活用した環境学習や普及啓発、ガイド育成等に係る支援制度を充実していただきたい。

## 【現状・課題等】

- 令和 4 年 12 月に開催された生物多様性条約第 15 回締約国会議（COP15）においては、2030 年までに陸域・海域の 30%以上の保全を目指す国際目標である 30by30 目標が採択されたところであり、締約国においては保護地域と OECM の拡張が求められている。
- 京都丹波高原国定公園については、その指定にあたり地元から施設整備などの要望や期待を強く受けていたが、未だ多くの要望に応えきれていない状況にあり、令和 6 年度以降も公衆トイレや休憩施設などの設置について多くの要望の声が挙がっているところ。
- 山陰海岸ジオパークは令和 4 年 12 月の再認定の際に 2 年間の条件付き再認定となったところであり、次期の再認定に向け、美しい地質遺産や文化を活かした環境学習や教育旅行等、更なる魅力向上につながる取組を進める必要がある。

京 都 府 の担当課	総合政策環境部 自然環境保全課(075-414-4378)
---------------	-------------------------------

**【国の事業等】****■概算要求〔環境省〕****▶ 自然公園等事業費等 91 億円（令和5年度予算 77 億円）**

国立公園等の優れた自然風景地の保護と安全で快適な利用の推進、中長期的な視点による施設管理を図る。

**▶ 国立公園等利用等推進事業費 19 億円（令和5年度予算 6 億円）**

国立公園等の美しい自然の中での感動体験を柱とした利用の高付加価値化や地域と連携した持続的かつ適切な利用、子どもの自然体験等を推進し、自然環境の保全へ再投資される保護と利用の好循環を実現するとともに、国内外からの誘客に貢献し、地域活性化を図る。

**【京都府の取組】****■生活・交通基盤整備事業費（自然公園施設整備費）（令和5年度予算 40 百万円）**

- ▶ 山陰海岸国立公園：テントサイトの再整備や園地内の木柵の再整備
- ▶ 丹後天橋立大江山国定公園：園地内の法面復旧工事
- ▶ 京都丹波高原国定公園：休憩施設の新設に係る設計

**■山陰海岸ジオパーク誘客促進事業（令和5年度予算 4 百万円）**

- ▶ 山陰海岸ジオパーク推進協議会負担金  
（商品開発、海外とのネットワーク形成、地質資源の調査研究、ガイド育成等）
- ▶ ジオサイト保全支援費  
（ジオサイト（見所）である大成古墳等の環境整備支援）